

# 第1回鹿児島県 韓国語スピーチ大会



日時 2005年2月27日(日) 13時~17時

開催場所 開陽高校視聴覚室

主催 鹿児島県外国語教育多様化推進委員(韓国語)

鹿児島モイム

協賛 福岡韓国観光公社

KTSクリエイティブ

南日新聞社

第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会

会順

- 1 会場校長歓迎のことば (13時)
- 2 大会実行委員長あいさつ (13時5分)
- 3 大会審査委員紹介 (13時10分)
- 4 スピーチ大会実施
  - (1) スキット部門開始 (13時20分)  
休憩
  - (2) 朗読部門開始 (14時10分)  
休憩
  - (3) スピーチ部門 (14時50分)
- 5 「話してみよう東京大会」参加作品紹介
  - (1) スキット部門 出水高校
  - (2) 映像部門 鹿児島東高校  
休憩
- 6 大会審査委員長講評 (16時)
- 7 成績発表・表彰 (16時10分)

審査委員紹介

審査委員長

入佐 信宏 (志学館大学専任講師・鹿児島大学講師)

審査委員

金 乙守 (鹿児島国際大学講師・鹿児島女子短期大学講師)  
(国際観光短期大学講師)

審査委員

崔 順珠 (鹿児島東高校講師・開陽高校講師)

審査委員

朴 修漢 (鹿児島大学留学生)

審査委員

韓 容熙 (鹿児島大学留学生)

審査委員

金 ダルレ (鹿児島大学留学生)

第1回鹿児島県韓国語スピーチ表彰について

<スキット部門>

最優秀賞 1組 優秀賞 2組

<朗読部門>

最優秀賞 1人 優秀賞 2人

<スキット部門>

最優秀賞 1人 優秀賞 2人

第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会審査基準について

① 朗読部門

イ 朗読文を暗誦して朗読することを原則とする。文章を見ながら朗読していいが、その場合は減点の対象になる。

ロ 審査基準は以下の通りとする。

発音(30)、流暢さ(30)、発表態度(30)(落ち着き・感情表現・声量など)、暗誦(10)

② スキット部門

イ スキット文は2つとも取り組む<sup>もの</sup>とする。

ロ 審査基準は以下の通りとする。

発音(30)、流暢さ(30)、発表態度(30)(落ち着き・感情表現・声量など)、暗誦(10)

③ スピーチ部門

イ 制限時間は5分以内とする。

ロ 審査基準は以下の通りとする。

発音(20)、流暢さ(20)、内容・談話構成(20)、文法・語法(20)、発表態度(20)(落ち着き・感情表現・声量・暗誦しているかなど)

ハ 発表原稿は大会本部に発表当日提出する。



第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会出場予定者一覧表

朗読部門

	発表順	氏名	住所	学習暦	所属・学習場所	その他
	4	下村 香織	串良町	6ヶ月	串良町生涯学習教室	
	2	田中 由貴子	鹿児島市	7ヶ月	崔 教室	
後	5	前原 幸代	鹿児島市	7ヶ月	崔 教室	
後	7	湯之原 みのり	蒲生町	9ヶ月	中野教室	小学5年
後	3	湯之原 彩	蒲生町	3年	中野教室	中学1年
後	9	今給黎 美里	出水市	6ヶ月	個人指導	
0	8	栗脇 つばき	鹿児島市	10ヶ月	開陽高校(全日)	
	1	宮園 紫帆	鹿児島市	10ヶ月	鹿児島東	
0	6	馬込 文香	鹿児島市	10ヶ月	鹿児島東	

第1回鹿児島県韓国語スピーチ大会出場予定者一覧表

スピーチ部門

		氏名	住所	学習暦	所属・学習場所	その他	題名
後	8	鶴丸 木綿花	鹿屋市	2年6ヶ月	串良町生涯学習教室	小学生	うちのまきストーブ
後	7	木下 あけみ	鹿屋市	2年以内	串良町生涯学習教室		
後	1	福留 タツ	高山町	約6年	串良町生涯学習教室		
	2	前川 孝子	鹿児島市	3年	個人指導		韓国ドラマと日本のドラマ
後	6	久保山 智恵	蒲生町	5年	鹿児島東		한국과 나
	3	緒方 和男	鹿児島市	2年	開陽高校(定時)	科目履修生	우리 집도 한류붐입니다
	9	塩屋 智子	鹿児島市	2年	開陽高校(定時)	科目履修生	韓国に行きたい!!
	5	河野 智浩	鹿児島市	2年	開陽高校(定時)	科目履修生	隣の国
	4	新留 洋子	鹿児島市	4年	開陽高校(定時)	科目履修生	일본에서 생긴 일

スキット1 釜山行きの高速バスターミナルへの行き方をたずねてみましたが

- A : 저기요. 고속버스 터미널이 어디예요?  
B : 어디까지 가세요?  
A : 부산이요.  
B : 여기서는 버스가 없어요. 택시로 가세요.  
A : 택시로 가요? 안 돼요. 너무 비싸요.  
B : 네, 그럼 걸어가세요. 한 시간 이상 걸려요.  
A : 부산까지 걸어가요? 안 돼요. 너무 힘들어요.  
B : 아니에요. 부산까지는 고속버스로 가세요.  
A : 여기 고속버스가 있어요?  
B : 여기는 없어요. 고속버스는 터미널까지 가야 돼요.  
A : 어떻게 가요? 저는 부산에 가고 싶어요.  
B : 네, 그러니까 택시로 가세요.  
A : 택시는 비싸서 안돼요. 저는 돈이 없어요.  
B : 아이고, 미치겠네, 마음대로 하세요. 안녕히 가세요.  
A : 네, 안녕히 가세요.....그 사람 왜 저래?

スキット2 友達と二人でブルコギー人前とカルビー人前を注文してみたが

- A : 어서 오세요. 필로 하시겠어요?  
B : 여기 뭐가 맛있어요?  
A : 다 맛있어요.  
B : 그럼 불고기 1인분하고 갈비 1인분 주세요.  
A : 손님, 그렇게는 안 됩니다.  
B : 네, 코로케요? 코로케는 안 먹어요.  
A : 그럼 뭐 드실 거예요?  
B : 불고기 1인분하고 갈비 1인분요.  
A : 아이고, 그렇게는 안 돼요.  
B : 아줌마, 코로케는 필요없어요.  
A : 그럼 어떻게 드실 거예요?  
B : 불고기 1인분하고 갈비 1인분요.  
A : 아이고 알았어요, 알았어요. 잠시만요.  
B : 저 아줌마는 왜 그래? 화 났어? 이상하네.....

スキット1 釜山行き的高速バスターミナルへの行き方をたずねてみたが

- A あの一、高速バスターミナルはどこでしょうか？
- B どこまでいけますか？
- A 釜山です。
- B ここからはバスがありません。タクシーで行ってください。
- A タクシーで行くのですか？ だめです。とても高いですよ。
- B はい、それでは歩いて行ってください。1時間以上かかります。
- A 釜山まで歩いて行くのですか。だめです。とてもきついですよ。
- B 違います。釜山までは高速バスで行ってください。
- A ここ、高速バスがありますか？
- B ここにはありません。高速バスはターミナルまで行かねばなりません。
- A どう行くのですか。私は釜山に行きたいのです。
- B はい、ですからタクシーで行ってください。
- A タクシーは高いですからだめです。私お金がないのですよ。
- B いやー、やってられないな。勝手にどうぞ。さようなら。
- A はい、さようなら。……あの人どうしてああなのかな？

スキット2 友達と二人でプルコギ1人前とカルビ1人前を注文してみたが

- A いらっしやいませ。何になさいますか？
- B ここは何がおいしいですか。
- A 全部おいしいですよ。
- B それではプルコギ1人分とカルビ1人分ください。
- A お客さん、それはだめです。
- B え？コロッケですか。コロッケは食べません。
- A それでは何を食べるのですか？
- B プルコギ1人分とカルビ1人分ください。
- A うわー、それはだめです。
- B おばさん、コロッケは必要ないです。
- A それなら何を食べるのですか？
- B プルコギ1人分とカルビ1人分ください。
- A うわー、わかりました。わかりました。ちょっと待ってください。
- B あの、おばさんどうしてああなの？怒ったのかな？おかしいなー

## 늑대와 개

눈이 펄펄 내린 겨울이었습니다. 며칠간이나 먹이를 먹지 못하고 헤매던 늑대가 산을 내려왔습니다. 먹을 것을 열심히 찾던 늑대에게 개 한 마리가 다가왔습니다.

늑대는 살이 통통하게 찐 개를 바라보며 부러운 듯 말했습니다.

“난 먹을 게 없어서 헤매고 다니는데, 넌 어떻게 그리 통통하게 살이 찐 거니?”

“주인집에서 먹여 주니까 먹을 걸 찾아 다니지 않아도 된답니다.”

그 말을 들은 늑대는 개가 정말 부러웠습니다.

“네가 주인집에서 하는 일이 뭔데?”

“밤에 집을 지키는 것밖에 없어요. 그건 일이라고도 할 수 없죠.”

“정말이야?”

늑대는 맛있는 음식을 먹으며 따뜻한 집에서 잠자는 모습을 상상해 보았습니다.

그러자, 개는 늑대에게

“늑대님이 무척 배가 고프신가 봐요. 그럼 우리 집에 가세요.”

라고 했습니다.

늑대는 그 말을 기다렸다는 듯이 고개를 끄덕끄덕거렸지요.

늑대는 기분이 아주 좋았습니다. 이제 먹이 걱정을 하지 않아도 된다고 생각하니 너무너무 기뻐했습니다.

그때 늑대는 문득 개의 목덜미를 보고 깜짝 놀라 물었습니다.

“그 목에 난 흉터는 뭐지?”

“이건 쇠사슬에 묶였던 자극이에요.”

그러자 늑대는 슬그머니 오던 길로 되돌아섰습니다.

“어디 가시는 거예요?”

개가 외쳤습니다.

“난 굶어 죽을지라도 쇠사슬에 묶이고 싶진 않다구. 잘 가!”

늑대는 뒤도 돌아보지 않고 산 속으로 돌아갔습니다.

雪がしんしんと降った冬のことでした。何日間もえさを食べられずにさまよっていた狼が山を降りてきました。食べ物を一生懸命探していた狼に一匹の犬が近寄ってきました。狼はまん丸と太った犬を見「ぞうらやましそうに」言いました。

“俺は食べ物がなくてさまよっているのに、お前は どうしてそんなに丸々と太っているんだ？”

“ご主人の家で食べさせてくれますから食べ物を探さなくてもいいのです。”

その言葉を聞いた狼は犬が本当にうらやましいでした。

“お前は主人の家で何をしているんだ？”

“夜 家を守っているだけです。それは仕事とはいえないですよ。”

“本当か？”

狼はおいしい食べ物を食べ、暖かい家で眠る姿を想像してみました。

すると、犬は狼に

“狼さんはとてもお腹が空いているようですね。それなら私の家に行きましょう。”

といいました。

狼はその言葉を待ってましたとばかりに首をたてに振ってうなずきました。

狼はとても気分がよかったです。もうえさの心配をしなくてもいいと思うととても嬉しかったのです。

その時、狼はふと犬の首筋を見てびっくりしてたずねました。

“その首の傷は何だ？”

“これは鉄の鎖に縛られた跡です。”

すると狼はそっと来た道を引き返したのです。

“どこに行かれるのですか？”

犬が叫びました。

“俺は飢えて死ぬにしても、鉄の鎖には縛られたくはないよ。さらば！！”

狼は後も振り返らず、山の中に戻っていきましたとき。

# 우주 비행사 이야기

A:유키오(남자) B:쇼코(여자)

A: 야, 우리 드디어 화성에 왔다.

B: 네, 그래요. 땅 위에서 이렇게 뛰는 것도 오랜만이에요.

아~, 재미있다~. 재미있어.

A: 정말 몰랐어. 화성의 하늘이 이렇게 빨간 것을.

B: 그것은 당근이지요.

A: 우리 여기까지 오는 거 너무 고생했다.

오랫동안 우주선을 타고...

B: 네, 그래요.

A: 니가 우주지도를 잊어버리고, 음식도 잊어버리고, 그냥...

B: 하하...

A: 왜?

B: 그 때 유키오 씨 얼굴 굉장했어요.

그 땐 진짜 배고파 죽는 줄 알았어요.

그런데, 여기에도 음식이 없다니. 죽기 전에 빨리 찾아야지.

앗! 생각났다!

A: 뭐가?

B: 지금 우리가 필요한 것은 비행기예요.

비행기 만들고 나서, 음식을 찾으러, 같이 가요.

A: 어떻게?

B: 여기는 길이 좁아서 이륙하는 것이 어려워요.

날개도 없는데, 하늘에 바로 올라가는 비행기가 좋지, 새처럼.

오른발, 왼발, 오른발, 왼발...

이렇게 준비하고 나서, 하늘에 점프하는 거예요.

오른발, 왼발, 오른... 아앗!

A: 줘.

B: 예?

A: 돈. 돈이 있어야지.

B: 그래요. 자, 손!

--- 이렇게 돼서 두 사람은 화성 땅 위에서 배고파 죽었대요.

# 宇宙飛行士物語

A:ユキオ(男) B:ショーコ(女)

A: わあ、ついに火星に来た。

B: ええ、そうですね。土の上でこんなに飛び跳ねるのも久しぶりです。  
ああ、おもしろい、おもしろいなあ。

A: ほんとに知らなかった。火星の空がこんなに赤いなんて。

B: それはトーゼンでしょ。

A: ここまで来るのに苦労したなあ。長いこと宇宙船に乗って.....

B: ええ、そうですね。

A: 君が宇宙地図を忘れて、食べ物も忘れて、そのまんま.....

B: はは...

A: なに?

B: そのときのユキオさんの顔すごかったわよ。

そのときはほんとにおなかペコペコで死ぬかと思ったわ。

さてとさ、ここにも食べ物がないなんて。死ぬ前に早く見つけなきゃ。

あっ、思いついた!

A: 何が?

B: いまわたしたちに必要なのは飛行機よ。

飛行機を作って、食べ物見つけに、行きましょう。

A: どんなふうに?

B: ここは道が狭くて離陸するのが難しいわ。

羽根もないから、空にまっすぐ上がる飛行機がいいわ、鳥のように。

右足、左足、右足、左足...

こういうふうに準備して、ジャンプするのよ。

右足、左足、右.....ああっ!

A: くれ。

B: え?

A: お金(ー)。お金がなきゃ。

B: そうね。さあ、手(ー)!

——こうして二人は火星の大地の上で空腹で死んでしまったげな。